

株式会社ピーシー・ブレイン お問い合わせ電話番号:047-311-6677

☆今月のメニュー

■2012年の検索ランキング

■いまどきのSEO対策

- 大きく変化した検索エンジン
- 一括登録は無意味
- これからのSEO対策

■SEO対策サービス

現在の検索エンジンに対応してSEO対策をパワーアップするサービスのご紹介

アンカーテキスト

アンカーテキストとは、文章の中でリンクが設定された箇所の文字列のことを指します。

検索エンジンは、この文字列とリンク先を関連づけて解析するため、SEO対策では重要な要素とされています。

例えば、www.pcbraint.co.jpへのリンクに対して、「千葉県ホームページ制作会社」という文字列を設定すれば、「千葉県」「ホームページ制作」とwww.pcbraint.co.jpのサイトが関連づけられると考えられています。

といって、全てのリンクに同じアンカーテキストを設定することはとても不自然な行為です。

アンカーテキストは文脈などによっても変化するのが自然で様々なパターンであるべきなのです。全く同一な表現ばかりだと今では評価されない、あるいはペナルティと対象となるのでご注意ください。



こんにちは、ピーシー・ブレインの高山です。

タレントの「鉄拳」が作った『振り子』というパラパラ漫画の動画をご存じでしょうか？英国ロックバンドの正式PVにもなったことで話題になっていますが、私は視聴して思わず涙をこぼしてしまいました・・・

さて、ホームページの活用方法を中心とした「WEBマーケティングのヒント」というタイトルで、情報をお届けいたします。

2012年の年間検索ランキング (Yahoo!)

ヤフーから2012年の年間検索ランキングが発表されました。集計期間は2012年1月1日～2012年10月31日です。

総合のランキングは、右図の通りです。

順位	キーワード	昨年
1	YouTube	(1) →
2	Facebook	(9) ↑
3	Amazon	(3) →
4	楽天	(5) ↑
5	Google	(4) ↓
6	mixi	(2) ↓
7	2ちゃんねる	(6) ↓
8	ニコニコ動画	(7) ↓
9	Twitter	(8) ↓
10	価格.com	(10) →

10位以内の顔ぶれは前年のものとほとんど変わりません。前年というよりは最近の傾向としては、上位の検索ワードについては大きく変わらなくなってきています。

そんな中で大きく変動があったのが、ソーシャル関係のサービス名の2つのワードです。

「facebook」は昨年の9以下から2位に大きく順位を上げました。SNSの中でもしっかり認知された状況です。一方でこれまで上位にいた「mixi」は6位に順位を落としています。利用者数やアクティブユーザーの状況を見ても下落傾向にあるので、このままだと次年度以降はさらに順位を落としてゆくでしょう。

また、総合ランキングの他にも各種のランキングも発表されています。

このうち「スマートフォン検索」では、「facebook」が1位となっていてスマートフォンユーザーの実態を反映したものになっていると言えます。「Mobage」「GREE」といったモバイル向けサービスや、「天気予報」といった外出先での検索といったワードが20位以下に現れるのは、スマートフォンならではの利用状況を表しています。

順位	キーワード	昨年
1	Facebook	(9) ↑
2	Amazon	(2) →
3	mixi	(1) ↓
4	YouTube	(3) ↓
5	楽天	(4) ↓
6	2ちゃんねる	(5) ↓
7	Google	(6) ↑
8	Twitter	(6) ↓
9	価格.com	(7) ↓
10	FC2	(12) ↑
11	EC2	(16) ↓
12	アズビル	(17) ↓
13	Mobage	(18) ↓
14	GREE	(19) ↓
15	AKB48	(20) ↓

大きく変化している検索エンジン

ここ数年の検索エンジンによるホームページの評価方法が大きく変わっています。



従来は、「被リンク」「外部リンク」といった要素が評価の大きなポイントを占

めると言われていたため、いかにしてこのリンクを増やすかという点ばかりが注目されていました。

このリンクを増やすという行為は、対応としてはそれほど難しくないため（リンクを張る先のページを用意する、確保しておいて、そこに依頼する、あるいは自動的にリンクを生成するような仕組みを仕込む等々）、裏技的なテクニックに走る SEO 業者が生まれる背景にもなっていました（実際手っ取り早く効果を上げた時期もあったので）。

この結果、検索結果の一覧には、利用者にとっては価値のない情報一覧サイトや広告だらけのサイトなどが多く占めるようになってゆきます。これは検索エンジンにとっては好ましい状況ではないので、検索アルゴリズムも変更されます。このような SEO 業者とのイタチごっこの状態が続いた時期もありましたが、それもここ1年程で劇的に変わりました。



今年に入って日本にも適用されたグーグルの「パンダアップデート」などがその対応ですが、今までの変更がサイト評価の加点方法を中心としてものだったのに

対して、減点方式（ペナルティ・罰則）も取り入れるようになったのです。以前からもペナルティの適用が厳格化された訳です。

リンクに対する評価点が下がって行く中で、提供される「コンテンツの質」そのものを評価する仕組みが取り入れられてきて、機械的な対応では SEO 対策の成果が上がらないどころか、かえって順位を落とす状況になってきています。

一括登録サービスの利用は意味がないだけでなく有害

リンクに対する評価が変化したことで、注意すべきことがあります。中小規模の検索エンジンへの一括登録サービスの利用です。かつての検索エンジンが洗練されていない時代には、この様なサービスもそれなりの役目を果たしていました。グーグルやヤフー以外の個人が作ったようなサイトを含む中小規模の検索エンジンへ登録することで、結果としてリンク数を増やしてゆくというものです。当時はソーシャルメディアやブログのようなサービスも無く、情報を発信できるプラットフォームが限られていたこともあって、多少なりともリンクの評価対象にはなっていました。ですが現時点では、登録すること自体に意味がないだけでなく、Google のガイドライン違反と判断される場合もあるので、百害あって一理なしなので止めましょう。（Google のフォーラム内で、Google スタッフによっても説明されています）

なお、Yahoo! JAPAN ビジネスエクスプレスのような単一サイトへの登録は、対象にはなりません。ヤフーのようにオーソリティ（権威）があるサイトは、それ自体に集客力があり送客のチャネルになるので、SEO 対策の効果は別としても、アクセスを集める効果はあります。

これから先の SEO 対策を考える

▼コンテンツの質を高める

検索エンジン（の特性）を対象にする代わりに、読み手である「人」を対象にしてコンテンツを作成する方が、良い結果をもたらします。検索エンジンは文章の解析力・認識力が大幅に進化してきているので、特定のキーワードを詰め込む必要はありません（詰め込むのは今では NG）。検索エンジン側が、同意語（同義語）や関連語を認識してキーワードと関連づけるため、より自然な書き方が好まれるようになっています。

まとめると、

- 検索エンジンに向けてではなくユーザーに向けて自然に書く。
- 検索エンジン側で同義語を認識するので、活用して文章を構成する
- 自然な表現で文章を書く（ムリにキーワードに置換しなくて OK）
- 複数キーワードの場合は、その通りに表現しなくても検索エンジンが文脈を理解する

▼リンクの質も高める

アルゴリズム変更によってリンクの効果はこれまでに比べると低くなりましたが、効果はまだあります。より「自然なリンク」が好まれるようになってきているので、その点を理解した上で対応しましょう。

一般的には自然な被リンクとは、画一的なものではなく多様性に富んでいるはずで、リンクを集める際には、以下の点に気を付ける必要があります。

- 相互リンクがほとんどということはありません。片方向のリンクも必ず存在する
- 1万を超えるようなリンクがたかだか 10 程度のサーバー(IP)からということもない
- リンクされているページが極端にトップページに偏る事もないはずである
- リンクに利用されているアンカーテキストがほとんど同じと言うのはかなり作為的である

▼まずは問題点の解消から

これまで通用した裏技的な SEO 対策や手っ取り早くリンクを集める対策はほとんど終焉を迎えています。以前とは異なり有害になっているのです。まずは、問題となっている箇所があれば特定し、それを解消すべきです。次のような問題点に留意して優先的に解消しましょう。

- ✓ 重複コンテンツは排除する（意図せずに CMS で生成されている場合もあります）
- ✓ キーワードの乱用を止める（同意語、関連語を利用した自然な文体が望ましい）
- ✓ (検索エンジン用の)誘導ページがあれば取り除く（ガイドライン違反です）
- ✓ フッターリンクを見直す（キーワードの羅列は低評価になります）
- ✓ 自動のアンカーテキストではなく自然な文章に書き換える
- ✓ スпамコメントを取り除く（CMS やブログなどを利用してコメントを許可している場合）
- ✓ 低品質ページを修正して価値あるページに書き換える
- ✓ 質の悪いライティングは評価を下げるだけなので取り除く（存在しない方がよい）
- ✓ URL は統一する（www の有無を混在させない、統一させる）
- ✓ 不自然なリンクは消去する（ペナルティの対象になる）
- ✓ 隠しテキストなどガイドラインに反する記載は排除する

株式会社ピーシー・ブレイン

〒270-2253
千葉県松戸市日暮 1-2-6
勝どきビル3F

電話番号
047-311-6677

Fax
047-311-6678

E-mail
info@pcbrain.co.jp

受付時間：
9:00～17:30

地域で一番ネットを使った
商売に詳しいコンサルティング企業

- Web マーケティングコンサル
- ネット集客支援
- ホームページ制作
- SEO リフォーム
- WEB システム開発

当社 Web サイト：
<http://www.pcbrain.co.jp>
<http://www.webquick.jp>



SEO 対策をパワーアップするサービスのご紹介

サーバーサービス「WEB-KOMON」
SERVER SERVICE "WEB-KOMON"

WEB-KOMON

弊社のお客様を中心とした質の高い相互リンクを掲載、日々更新しています。順位を監視しながら、必要に応じて内部対策チューニングを行っています。（CMSやECサイトとしても利用できるレンタルサーバーサービスとして提供しています）

【こんな方へ】

サーバー関係の面倒な手続きや管理から開放されたいと感じている方。
どうせサーバーを借りるならプラスαで相談できるところに頼みたいと思う方。
SEO対策も含めたアドバイスや対応を期待している方。

SEO-KOMON

SEOサービス内容と効果はWEB-KOMONと同じですが、レンタルサーバーサービスを伴わないサービスです。

【こんな方へ】

現在使用しているレンタルサーバーの引越しが困難な場合や、またはサテライトサイトなど複数サイトを運用されている場合にはこのSEO-KOMONをおすすめします。

ご紹介キャンペーン

お知り合いで、あるいはお近くの方でWEB-KOMON/SEO-KOMONのサービスを求めている方はいらっしゃいませんか？ぜひご紹介ください！
ご成約いただいた場合、ご紹介いただいたお客様のWEB-KOMON/SEO-KOMONのご利用料を、最大で50%×3ヶ月分の割引させていただきます。
詳しくは弊社の担当スタッフまでお気軽にお問い合わせください。

お知らせ 年内営業のお知らせ

2012年の営業は12月28日（金）まで、2013年は1月4日（金）13:00より開始しますので、よろしく願いいたします。

ニュースレターの感想、取り上げて欲しいテーマ、相談など、ぜひご意見をお聞かせ下さい！
→ FAX:047-311-6678 / 電子メール：info@pcbrain.co.jp

株式会社ピーシー・ブレイン

発行責任者：高山卓巳

〒270-2253
千葉県松戸市日暮 1-2-6
勝どきビル3F

TEL: 047-311-6677 FAX: 047-311-6678 Email: info@pcbrain.co.jp